行政視察報告書

令和　5　年　2　月28日

長浜市議会議長　　様

長浜市議会議員　　大橋延行　[redacted]

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1．視察等名　　恵風会会派行政視察
2．視察期間　　令和　5　年　2　月　7日（火）～　8日（水）
3．視察場所及び目的
　①　茨城県　桜川市　・公立病院の再編について

　②　東京都中央区日本橋　東京長浜観音堂　　視察

　③　東京都　内閣官房こども家庭庁設立準備室
　　(1)　我が国の少子化の現状及び対策について
　　(2)　子ども家庭庁が取り組む地域におけるいじめ防止策の推進について
　　(3)　ヤングケアラー支援の現状について
　　(4)　自動虐待の推進について

4．調査内容感想等

・視察の目的

茨城県桜川市と筑西市における地域医療再編に伴う、自治体公立病院再編整備について、本市の課題である、地域医療再編・公立２病院の経営の在り方について、東京観音堂における湖北観音文化の情報発信の状況視察、子ども家庭庁における今後の国の施策について説明を受け、知見を深め、今後の政策に生かすべく視察研修を行う

長　浜　市　議　会

・視察の内容

桜川市においては以下の７項目について質疑を行い回答、アドバイスをいただいた

1. ３病院の再編統合の必要性や背景について
2. 筑西・下妻医療圏域内で、どの病院がどのような医療を担うか、再編統合後の病院がどのような医療を担うかなど役割が定められていたのか
3. それぞれ地方独立行政法人、指定管理者制度を選定された理由、経緯についてまた、独立行政法人・指定管理者で運営されるメリット・デメリットについて
4. 両市と医療法人とでどのような交渉や・調整が行われたのか
5. 新病院の場所は、どのような場所で、どのように決められたのか
6. 病院間での検討はどのような体制で行われたのか
7. 統合検討時の市・一部事務組合職員体制は、兼務（財政、建築など）等も含めどのような構成であったか。

東京観音堂においては、丁寧に現地説明をいた。

子ども家庭庁においては、少子化や子育支援の諸問題及び子供に関する事項について標記の４点についてレクチャーを受け、また長浜市に関連したことを陳情

・行政視察の結果を本市議会にどのように反映させるか

桜川市・筑西市の経験、意見を参考にして、指定管理・独立行政法人の在り方、目に見えない財源の負担、現場の医療従事者の意見徴収、市民・患者さんへの広報活動などの施策等を丁寧に進めていくこと必要である。

子育て支援等国と連携して行う施策が多く、行政職員と情報を共有しなければいけない